



平成25年度託児室付研修会&交流会を終えて

会員ライフサポート部 (萩原文子)

会員ライフサポート部 活動報告 第43報 職場環境を考える

平成25年10月13日(日)ウイリング横浜にて、例年に引き続き当部主催の託児室付き研修会及び交流会が実施されました。

研修会では、今さら聞けないシリーズ4「脳画像のみかた③～画像と臨床応用～」というテーマで、昨年に引き続き(株)AwesomeLife代表の田中一秀先生にご講演いただきました。

続いて行われた交流会では「働き続けるために必要なことって何だろう?」というテーマで、日頃頑張っていること・工夫していること・困っていることなどを話し合いました。

今回は20歳代が70%、30歳代が25%と多くの若い方が参加されておりました。

男女比は、20歳代は半々でしたが、30歳代では79%が女性でした。

託児利用は0歳児3名、1歳児1名、2歳児1名の5名でした。

前半の講演では、CTやMRIなどの脳画像撮影法の構造から脳機能障害の実際まで、症例も含め大変わかりやすくお話しいただきました。「脳画像を見て考え、予後予測ができるようになりたい」「学ぶことの大切さを実感した」などの意見がありました。

後半の交流会では7～8名のグループに分かれて、あまり長い時間は取れませんでした。積極的な意見交換が行われ、3グループに発表して頂きました。働き続けるために必要なこととして一番多かったのは「専門性や能力を上げる」でした。その他の意見を表に挙げています。アンケートでは「施設や経験年数・環境などによつての違いを知れてよかった」などの意見がありました。

託児室については85%が他の研修会にも設置すべきとの意見でした。神奈川県士会では今年度より当部の研修会と学会以外の研修会にも託児室の設置を始めました。育児中でも専門家として能力を維持していけるよう、今後も育児中の方々も参加しやすい研修会を増やしていきたいと思ひます。

■交流会での意見交換で挙げたご意見

「働き続けるために必要なことって何だろう?」

- ・専門性や能力を上げる
- ・職場・家族のサポート
- ・相談できる環境
- ・勤務時間や休暇
- ・体力
- ・自分の意欲
- ・待遇(収入や福利厚生など)
- ・他職種や他院などとの情報交換
- ・やりがい

など



月	日	内容	場所
10月	1日(火)	横浜市障害者総合支援審査会	関内
	19日(土)	協会選挙制度検討特別委員会	田町カンファレンスセンター
	22日(火)	第5回事業運営会議、会務処理	事務所
	24日(木)	第49回学会準備委員会、会務処理	事務所
	31日(木)	会務処理	事務所
	31日(木)	県医療専門職連合会公開講演会	県民サポートセンター
11月	2日(土)	第32回関東甲信越ブロック理学療法士学会開会式	幕張メッセ
	6日(水)	横浜市障害者総合支援審査会	関内
	6日(水)	会務処理	事務所
	6日(水)	県医療専門職連合会理事会	放射線技師会事務所
	11日(月)	「仕事と介護の両立推進出前講座」	バイオニア川崎事業所
	17日(日)	第1回災害対策研修会	神奈川近代文学館
	18日(月)	横浜リハ学院教育課程編成委員会	横浜リハ学院
	22日(金)	会務処理	事務所
	23日(土)	協会選挙制度検討特別委員会	田町カンファレンスセンター
	28日(木)	第49回学会準備委員会	事務所
	29日(金)	事務局懇親会	横浜